

電気を使わない生ごみ処理器の設置を推進しています。

生ごみ減量を実践してみませんか！

環境防災課 ☎84-0314

町では、電気を使わない生ごみ処理器の設置推進制度を実施しています。

処理器は、4種類あります。ごみの減量化に向けて、町民の皆さんのご協力が必要です。自宅で生ごみ処理を始めてみませんか！

処理器の購入費を助成します

○申込みから処理器のお届けまで

環境防災課で申し込み

審査・納付書の送付（約1週間）

個人負担金の支払

希望する日（土・日・祝日を除く）に役場から処理器をご自宅までお届けします。処理器によっては申し込みを受けてからの受注生産となるため、お届けに時間がかかることがあります

処理器の概要

処理器	大きさ 縦×横×高さ (cm)	設置時に町が 用意するもの	使い方（概要）	庭	維持費	個人負担金額
①バクテリアdeキエーロ (地下置き)	60×110×45	処理器 黒土14ℓ×6袋	処理器の中に入れた土に、20cmくらいの穴をあけて生ごみを入れ入れます。生ごみと土をよく混ぜ、土をかぶせます。分解に夏場は5日、冬場は2週間ほどかかります。埋める場所を順番に変えて使います。	必要	◎ (ゼロ)	8,000円
②ペランダdeキエーロ (ペランダ置き)	45×90×80	処理器 黒土14ℓ×8袋		不要	◎ (ゼロ)	9,000円
③ダンボールコンポスト	30×30×45	ダンボール コンポスト 土のう袋 土15kg くん炭 米ぬか	ダンボールの二重箱になっています。土のう袋に入れた土とくん炭の中に生ごみを投入します。米ぬかを入れ、よく混ぜて使用します。	不要	△ くん炭を必要 土・米ぬかを 補充する が あり	1,000円
④手動式生ごみ処理機 (くるくる)	51×35.5×36	処理器 種材 (交換用の種材は町でも斡旋販売します。)	種材(チップ)が入った容器の中に生ごみを入れ、ハンドルを回して中身をかくはんして使用します。数日で生ごみが無くなります。	不要	△ 種材 年数千円	9,000円

処理できる生ごみの量は1日概ね500g程度です。

利用者の声

実際に、「ペランダdeキエーロ」を平成23年9月から使用している茅沼さん（円中）にお話を伺いました。

◎処理器の良い点は？

水切りをしないので、そのまま生ごみを投入できるので手間が省けます。夏場は2〜3日で生ごみが消えてなくなり、とてもおもしろい。もともとやってみたくありません。減量化の意識が向上すると思います。土に生ごみを埋めるのでいいはほとんどありません。土は畑の堆肥としても使えてよいです。

◎手間がかかることは？

生ごみでないものが混ざらないよう、分別する努力も必要です。



ペランダ de キエーロ

◎皆さんにメッセージを

「ペランダdeキエーロ」を使ってみませんか！これは、土の中に生ごみを入れるだけでよいので、ごみ袋に入れる手間とほとんど変わりません。ごみが消えていく過程も楽しめるので、負担金額も安く感じられると思います。1回使用してみると意識が変わると思います。開成町内にはごみの焼却施設がなく、住民一人一人が意識し、ごみ減量化を推進していかなければなりません。「ペランダdeキエーロ」は生ごみ減量のために優れた処理器だと思います。とにかく使用してみると驚きます。多くの方に使っていただきたいと思っています。

生ごみが
消えて
なくなります

詳細は、環境防災課までお問い合わせください。役場で実物を展示しています。

「開成小学校放課後子ども教室」活動開始

教育総務課 ☎82-5221

文部科学省は放課後に、余裕教室等を活用して学習や遊びをするための「居場所」や「時間」を子どもたちに提供し、心豊かで健やかな子どもの育成をねらいとした「放課後子ども教室」を推進しています。開成町教育委員会では昨年11月14日(水)に第1回「開成小学校放課後子ども教室」を開設しました。

この放課後子ども教室は毎週水曜日に実施されていて、現在、165人の子どもが登録をしています。初日は132人という、たくさんの子どもたちが余裕教室・体育館・校庭で活動しました。

ボールで遊ぶ子、ろく木に登る子、鬼ごっこをする子、勉強や工作をする子、それぞれ楽しく時間を過ごすことができました。

スタッフは、コーディネーターを中心に学習・安全サポーター(6〜7人)で構成し、子どもたちの主体的な活動を見守りながら、状況により支援を行っています。子どもたちは、地域の方々や保護者の方々に見守られながら、友だちと楽しく時間を過ごしています。



体育館で活動する子どもたち



高飛びの授業支援（開成南小）

小学校の体育授業を支援

湘南ベルマーレスポーツクラブ

教育総務課 ☎82-5221

今年度、特定非営利活動法人「湘南ベルマーレスポーツクラブ」が、「文部科学省地域スポーツとトップスポーツの好循環プロジェクト」事業に採択されました。開成町ではこれを受け、小学校体育授業の支援をお願いしています。

この事業は、トップアスリートなどの優秀な技術や経験を地域スポーツに有効に活用し、スポーツのすそ野の拡大及び底上げを図ること、小学校においては地域の人材の活用を含めた地域での教育支援体制をつくることを目的としており、

- (1) トップアスリートによるジュニアアスリート支援
- (2) 地域の課題解決への取り組みの実践
- (3) 小学校体育活動コーディネーターの派遣による支援を行っています。

平成24年6月から、開成小学校と開成南小学校に、昨年度までトライアスロンの選手であった支援者が、週4回体育の授業を実施しています。

水泳の授業では、現役時代に培われたすばらしい泳ぎを見本として披露したり、泳ぎが苦手な児童に、うまく泳げるコツをアドバイスしたりしていました。

幅跳び・高跳びでは、助走の仕方や踏み切り、空中姿勢、着地などの正しい方法を実技を交えて指導してくれるので、子どもたちが大変意欲的に取



サッカーの授業支援（開成小）

組んでいます。

事前に効果的な指導・支援ができるように、先生と支援者で話し合っており、計画を立てて進めています。

支援者は、「現場の先生方大変さを肌で感じています。私は地域の方々に支えられ競技生活を送ってきました。この活動を通じて地域に少しでも還元したいと考えています。将来授業で関わった子どもたちが、スポーツに親しみ楽しんでもらえればうれしいです。」と話していました。

体力と技能の向上をめざしながら、運動の楽しさや喜びが味わえる授業をめざして進めています。